

2000年(平成12年)阿嘉島臨海研究所の1年間の動き

List of research activities at AMSL by visitors and the staff in 2000

主な利用者と研究課題等

- 1月 「サンゴの移植技術に関する研究」大久保奈弥(東京水産大学): 阿嘉島臨海研究所との共同研究
(3・5・6・8月にも実施)
「ミドリイシ属サンゴの放出卵数」北田英之(東京水産大学)(5・6月にも実施)
- 2月 「海産無脊椎動物の共生藻に関する分子生物学的解析」Carmen Baillie、Brett Baillie (海洋バイオテクノロジー研究所)
「座間味村産業まつり」で阿嘉島臨海研究所の活動内容を展示紹介
海洋科学技術センター国際サンゴ礁シンポジウムにて、谷口洋基・岩尾研二・大森 信が「阿嘉島の造礁サンゴの現状: 1998年に起きた大規模な白化現象の影響」について発表。
「サンゴの蛍光タンパクに関する予備調査」宮脇敦司ほか(理化学研究所)
慶良間列島6地点でサンゴ礁現況調査((財)亜熱帯総合研究所より委託)を実施
- 4月 「同位体を利用したサンゴ礁のCO₂吸収効果の研究」立田 穰((財)電力中央研究所)ほか
- 5月 「神経伝達物質によるサンゴ幼生変態制御」服田昌之(国立遺伝学研究所)(~6月)
「阿嘉島周辺に生息するミドリイシ属サンゴの受精率変化」石水秀延(東京水産大学)(6・8月にも実施)
- 6月 「サンゴ幼生着生後の生存率に関する野外実験」Aileen N. C. Morse ほか(カリフォルニア大学サンタバーバラ校): 阿嘉島臨海研究所との共同研究
「Acropora 属幼生加入促進のための底質実験」入川暁之((財)沖縄県環境科学センター): 阿嘉島臨海研究所との共同研究
- 7月 「慶良間列島におけるソフトコーラル類」Yehuda Benayahu(テルアビブ大学)、田中淳一ほか(琉球大学)
「ハックルベリー日記」(近畿日本ツーリスト主催)にてサンゴ礁教室を実施(~8月)
- 8月 「八放サンゴにおけるレクチンの分布と共生藻認識機構への関与」小池一彦・酒井隆一・神保 充ほか(北里大学)
「屋嘉比島におけるウミガメとアカマタの生態」大田英利ほか(琉球大学)、森 哲(京都大学)、平手康市(沖縄県農林水産部)
「渡嘉敷サンゴ礁ウォッチング」にて岩尾研二・藤田和彦が特別講師として参加。
「刺胞動物のタンパク性毒液に関する研究」永井宏史((財)サントリー生物有機科学研究所)、大城直雅・岩永節子(沖縄県衛生環境研究所)
- 9月 日本サンゴ礁学会第3回大会(於慶応義塾大学)にて、藤田和彦が「ゼニイシの生態」でポスターセッション最優秀賞を受賞。大森 信は一般公開シンポジウムのパネルディスカッション「私達をめぐるサンゴ礁 徳に社会経済、文化の見地から」でコンピナーと司会を務める。
- 10月 第9回国際サンゴ礁シンポジウム(於バリ、インドネシア)にて、岩尾研二が「神経ペプチドによるミドリイシ属サンゴの変態誘引」を、谷口洋基が「阿嘉島における造礁サンゴの白化とその後の推移」を、下池和幸が「阿嘉島における10年間のサンゴ産卵研究」を、大森 信が「ミドリイシ属サンゴの受精率の急激な低下: 白化現象の影響?」(後に Science 誌[Vol. 290, Nov. 17, 2000]にこのシンポジウムの

報告記事が載り、その中で白化問題に関してこの研究発表が大きく取り上げられた)および「パラオ熱帯生物研究所とパラオ国際サンゴ礁センター」をそれぞれ発表。別に大森 信は、基調講演「日本のサンゴ礁とサンゴ礁研究」を行う。

「阿嘉島周辺海綿からのシグナル伝達阻害剤の探索」梅沢一夫(慶応義塾大学)

11月 「海洋生物の生物活性物質」中村英士・大場裕一ほか(名古屋大学)

12月 「人工基質によるサンゴ付着実験」高橋達人(NKK 鉄鋼技術センター)

「サンゴ移植基盤試験」池田 穰((株)間組)

その他の主な来訪者

遠藤仁彦(水産庁資源生産推進部)、畔田正格・佐川真治((社)マリノフォーラム 21)、比嘉 勲((財)沖縄コンベンションビューロー)、遠藤 晃(森林総合研究所九州支所)ほかケラマジカ研究グループ、白川哲久(文部省大臣官房審議官)、中谷三男ほか(国立沖縄青年の家)、都立九段高校修学旅行生、Francis Matsutaro(パラオ国際サンゴ礁センター)、加賀美 仁(東京水産大学)、廣渡道明ほか(NHK)、岡部 洋・宮原義昭(都立中野工業高校)、ASEAN 諸国連合海洋保全コース研修生(JICA 沖縄国際センター)、綿貫啓・庄司武志((株)テトラ)、中谷誠治(亜熱帯総合研究所)、山里祥二((財)沖縄県環境科学センター)

AMSL 刊行物

「みどりいし」No.11、「アムスルだより」Nos.41~46

発表論文等

Fujita, K., H. Nishi and T. Sato 2000. Population dynamics of *Marginopora kudakajimensis* Gudmundsson (Foraminifera: Soritidae) in the Ryukyu Islands, the subtropical northwest Pacific. *Mar. Micropaleontol.*, 38: 267-284.

Fukami, H., M. Omori and M. Hatta 2000. Phylogenetic relationships in the coral family Acroporidae, reassessed by inference from mitochondrial genes. *Zool. Sci.*, 17: 689-696.

亀丸文秀・藤田和彦・秋元和實・長谷川四郎 2000. 現生底生有孔虫の採集・保存処理. 化石研究会編, 化石の研究法. 共立出版, p.67-69.